

エコアクション21 環境経営レポート



令和8年4月9日作成

(活動期間：令和7年4月～令和8年3月)



株式会社とだか建設

目 次

I. 環境経営方針	P1
II. 登録事業所の概要	P2~3
III. 環境目標とその実績		
環境目標	P4~5
IV. 環境経営取り組み内容と結果の評価		
、次年度の取り組み内容	P6
V. 環境関連法規制の遵守状況		
法違反 訴訟等の有無	P7
VI. 代表者による全体の評価と見直し	P7
VII. 実績グラフ	P8

環境経営方針

株式会社とだか建設は

全社員が地球環境保全の必要性を理解し

事業活動に起因する環境負荷の低減を意識し

工夫・改善の認められる活動を

継続的に取り組みます

1. 事業活動における以下の項目について、環境目標を設定して推し進め、活動を通して継続的に改善する事で、環境負荷の低減に取り組む。
 - (1) 営業・オフィス活動における省エネルギーおよびCO₂削減の推進
 - (2) 工事作業所における環境汚染防止および振動・騒音対策の推進
 - (3) 建設副産物の削減およびリサイクルの推進
2. 環境保全に関する法規制および当社が同意する外部からの要求事項を遵守する。
3. 教育や内部監査を実施し、社員の環境に対する意識と対応力を高める。
4. 環境保全活動の取り組みを開示し、社会とのコミュニケーションを図る。

令和 2年 1月 6日

株式会社とだか建設

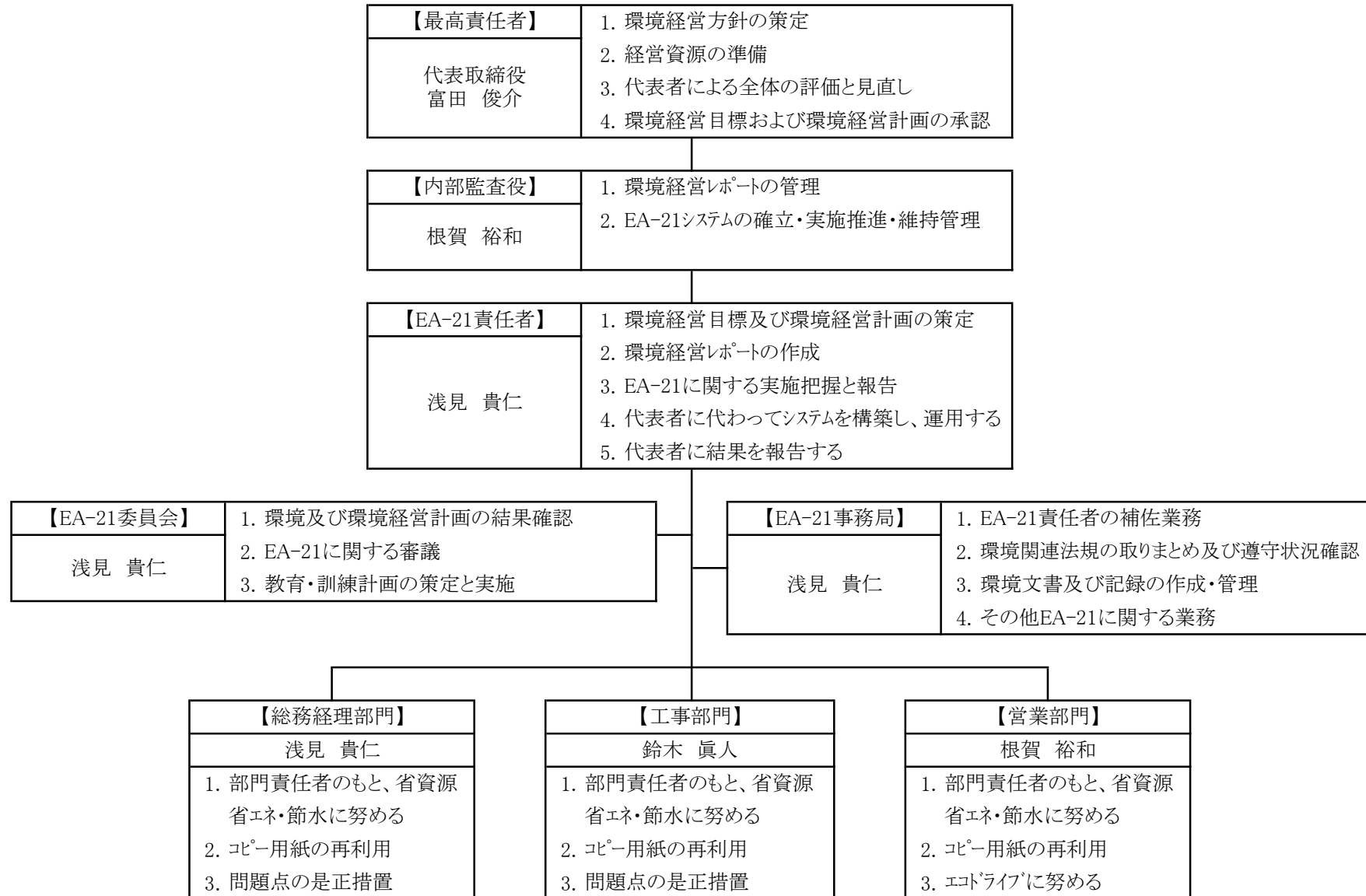
代表取締役社長 富田 俊介



II. 登録事業所の概要

1. 事業所名及び代表者名
株式会社 とだか建設
代表取締役 富田 俊介
2. 所在地(認証・登録の適用事業所)
本店： 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川166-4
3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
EA21 環境管理責任者： 浅見 貴仁
連絡先： TEL 048-682-0088 FAX 048-682-2288
E-mail asami@todakakensetu.co.jp
4. 事業内容(認証・登録の範囲)
土木工事業・電線類無電柱化事業・通信インフラ整備事業・電力インフラ整備事業
舗装工事業
5. 法人設立 昭和 52 年 6 月
6. 事業規模
資本金 5,000万円
従業員 75名 (令和8年4月1日現在)
売上高 32.6億円 (令和7年度)
7. 事業許可の内容
特定建設業 埼玉県知事許可(特-5)第 62453 号
許可年月日 令和 5 年 5 月 26 日 許可期限 令和 10 年 5 月 25 日

環境組織体制



Ⅲ. 環境目標とその実績

○印＝目標達成 △印＝目標未達であるが30%未満 ×印＝目標未達であり30%以上

※売上原単位での目標値とする。

目標・活動項目(単位)	2013年度 基準値	2013年度 基準値(原単位)	目標値		実施値		評価
			13年比 8% 削減	13年比 41% 削減	2025年度 実数	2025年度 原単位	
1 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	-	-	13年比 8% 削減	13年比 41% 削減	2025年度 実数	2025年度 原単位	-
	440,498	21,177 /億円	405,258	12,431 /億円	269,346	8,262 /億円	-33.5% ○
①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	-	-	13年比 8% 削減	13年比 41% 削減	-	-	-
	79,361	3,815 /億円	73,012	2,240 /億円	70,251	2,155 /億円	-3.8% ○
②ガソリン使用量の削減 (L)	-	-	13年比 8% 削減	13年比 41% 削減	-	-	-
	33,080	1,590 /億円	30,434	934 /億円	22,981	705 /億円	-24.5% ○
②軽油使用量の削減 (L)	-	-	13年比 8% 削減	13年比 41% 削減	-	-	-
	121,803	5,856 /億円	112,059	3,437 /億円	83,732	2,568 /億円	-25.3% ○
2 産業廃棄物の 再資源化率 (%)	100%	-	100%	-	100.00%	-	-
	(10,412)	-	-	-	-	-	○
3 一般廃棄物の削減 (kg)	-	-	13年比 7% 削減	13年比 41% 削減	-	-	-
	4,042	194 /億円	3,759	115.3 /億円	3,545	108.7 /億円	-5.7% ○
4 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m3)	-	-	13年比 7% 削減	13年比 41% 削減	-	-	-
	223	10.72 /億円	207	6.35 /億円	267.0	8.19 /億円	29.0% △
5 環境配慮の施工	20	-	24	-	46	-	91.7% ○

注) 2013年8月末売上高20.8億円 2026年3月末売上高32.6億円

電力の二酸化炭素排出係数 0kg-CO2 (出光グリーンパワー 再生エネ100%)

→令和7年12月より東京電力エナジーパートナーズ(株)に変更。グリーンベーシックプランにより、調整排出係数は0。

化学物質の取り扱いがないため目標・活動項目未設定

Ⅲ. 環境目標

目標・活動項目(単位)	基準値(※1)	原単位	目標値【原単位＝基準値÷売上(億円)】			
			2026年度 原単位	2027年度 原単位	2028年度 原単位	2029年度 原単位
1 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	-	-				
	269,346	8,262 /億円	7,876 /億円	7,503 /億円	7,144 /億円	6,802 /億円
①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	-	-	25年比 5%削減	25年比 9%削減	25年比 14%削減	25年比 17%削減
	70,251	2,155 /億円	2,054 /億円	1,957 /億円	1,863 /億円	1,774 /億円
②ガソリン使用量の削減 (L)	-	-	25年比 5%削減	25年比 9%削減	25年比 14%削減	25年比 17%削減
	22,981	705 /億円	672 /億円	640 /億円	610 /億円	580 /億円
②軽油使用量の削減 (L)	-	-	25年比 5%削減	25年比 9%削減	25年比 14%削減	25年比 17%削減
	83,732	2,568 /億円	2,448 /億円	2,332 /億円	2,221 /億円	2,114 /億円
2 産業廃棄物の 再資源化率 (%)	-	-	-	-	-	-
	100%	-	100%	100%	100%	100%
3 一般廃棄物の削減 (kg)	-	-	25年比 5%削減	25年比 9%削減	25年比 14%削減	25年比 17%削減
	3,545	109 /億円	104 /億円	99 /億円	94 /億円	90 /億円
4 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m3)	-	-	25年比 5%削減	25年比 9%削減	25年比 14%削減	25年比 17%削減
	267	8.19 /億円	7.81 /億円	7.44 /億円	7.08 /億円	6.74 /億円
5 環境配慮の施工	46	-	46	46	46	46
売上計画(億円) 目標5%/年	32.6 2025年度実績		34.2	35.9	37.7	39.6

※1 2025年度実数

IV. 2025年度の環境経営計画の取り組み内容と結果の評価、2026年度の取り組み内容

	環境目標	取り組み内容	実施部門 責任者	評価	次年度の取り組み
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減 (CO ₂ の削減) 【目標】 2025年度比 5%削減	①未使用時の電気消灯の徹底 ②設備電気不要時の負担遮断 ③エアコンの温度設定の徹底 ④節電シールの表示 ⑤昼休みの消灯	全部門 浅見 貴仁	○ ○ ○ ○ ○	継続 継続 継続 継続 継続
	燃料使用量の削減 (CO ₂ の削減) 【目標】 2025年度比 5%削減	①アイドリングストップの徹底 ②効率の良い配車スケジュールの検討実施 ③車輛の燃料使用量と走行距離のチェック ④「エコドライブ10のすすめ」を車輛に掲示 ⑤現場車輛の必要最低限の検討・実施 ⑥省エネ重機の採用の励行	工事部 営業部 浅見 貴仁	○ ○ ○ ○ ○ ○	継続 継続 継続 継続 継続 継続
廃棄物の再資源化と排出量削減	建設廃棄物の再資源化 【目標】 100%	①管理表による適正処理 ②廃棄物分別の徹底 ③残余資材のリユース/リサイクル	工事部 各現場代理人	○ ○ ○	継続 継続 継続
	一般廃棄物排出量の削減 【目標】 2025年度比 5%削減	①廃棄物分別の徹底 ②裏紙使用の徹底 ③排出量の管理 ④ペーパーレスの推進	全部門 浅見 貴仁	○ ○ ○ ○	継続 継続 継続 継続
節水	水資源使用量の削減 【目標】 5%削減	①節水シール等の表示 ②漏水の点検	全部門 浅見 貴仁	○ ○	継続 継続
環境配慮	環境配慮の施工 【目標】 電線地中化工事46件 維持	①騒音、振動、粉塵対策を講じた施工 ②レンタル(リユース)資材・備品の採用	工事部 鈴木 真人	○ ○	継続 継続

V. 主な環境関連法規制等の遵守状況、法違反 訴訟等の有無

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物・マニフェスト管理 等
建設リサイクル法	特定建設資材を使用した一定基準以上の工事
騒音規制法	特定建設作業実施届の提出
振動規制法	特定建設作業実施届の提出
埼玉県・さいたま市条例	条例の確認・事前協議実施確認の徹底
オフロード法	排ガス排出量の抑制
フロン排出抑制法	機器の所有者(管理者)によるフロン漏えい点検

環境関連法規制等の遵守状況を定期評価した結果、環境法規等の逸脱はなかった。

また、環境法規関連における法的違反や訴訟、苦情も無く、化学物質の取扱も無かった。

(2010年以降現在まで)

VI. 代表者による全体の評価と見直し

2025年度は水資源使用量が目標未達となった。

ここまで環境目標数値を2013年度基準値を参考してきたが、10年以上経ち現状と比較する基準としては適さなくなってきた。

2026年度から新たに「2025年度実績の原単位」を目標として管理していく事を試みる。

その他「環境経営方針」「環境活動計画」「実施体制を含む環境経営システム」に変更はない。

2026年4月9日

株式会社 とだか建設

代表取締役 富田 俊介

実績グラフ

